

授業研究会への活用

せっかくの一人1研究授業がやりっぱなしになっ
ていてもったいないな

忙しいけど授業や子
どもについてもっと深
く他の先生方と話がし
たいな



もっと普通の授業に役
に立つ授業研究会がで
きないかな

授業のこつを知
りたいな

授業で困っているけ
どどうしていいかわ
からない…

「話し合いモデル」を使って授業研究会を行うと

- ☆ 授業についての課題や解決策をみんなで話し合ってもらえる！
- ☆ 次の授業ですぐに役立つような、こつを教え合える！
- ☆ 子どもや授業を見る目が変わる！
- ☆ 少人数で密度の濃い授業研究会ができる！

次の資料を使ってやってみよう！

- 1 授業研究会手順シート
＊「話し合いモデル」を使った授業研究会の原則と手順を説明したシートです。
- 2 授業研究会のシナリオ
＊実際にやるとこんな感じになります。
- 3 活用のための資料
 - ① 授業参観シート
＊授業研究会の指導案に変わるものです。
 - ② 授業研究会シート
＊授業研究会で使うシートです。



授業研究会手順シート

授業研究会の場面は、授業をする先生の課題に参加するチーム全員の課題として捉え、先生方が積極的に知恵や知識を交流し合って改善することを目的としています。

そのため、授業研究会の場面では、以下のようなことを原則としていきたいと思います。



- ◎ 互いに学ぶ姿勢を持ち、年齢や経験年数にかかわらず平等の立場で参加する。
- ◎ 授業をした先生の見方や考え方を尊重し、質問することによってその課題や考えをチームで納得するまで話し合い共有する。
- ◎ 解決策は全員で出し合うが、行動計画はあくまで授業者の先生が選択する。
- ◎ 授業をした先生の本時の実践の批判を行うのではなく、授業の中で見えた児童の姿をもとに、授業者の先生がよりよい授業を行うためにどうしたらよいかという視点を持つ。

授業研究会への流れ

(事前)授業の前に、授業をする先生が、日頃、授業中に課題として感じていることを書いた授業参観シートを作り、チームに配付しておきます。それが、授業を見る視点になります。

例：「発言が少ない。」「話を聞かない児童がいる。」「児童の集中力がとぎれやすい。」「話し合いがうまくできない。」など。



(授業研究会)

- 1 授業者の先生から課題について短く説明を受けます。(本時の授業とかかわらせながら)
- 2 説明についての質問を他の先生から出してもらい、授業者に答えてもらいます。
- 3 授業者の先生の本質的な問題(児童に問題が生じる理由)を一人ずつ紙に書いてもらってから発表してもらいます。
- 4 他の先生の発表を受けて、授業者の先生にもう一度自分の課題を説明してもらいます。
- 5 授業者の先生の課題が共有できるものか、全員で確認します。
- 6 共有できたら、全員でその解決策を出し合います。
- 7 授業者の先生は自分の授業改善のために具体的に何をするか行動計画を作り発表します。
- 8 授業者の先生の行動計画が共有できるものか、全員で確認します。
- 9 話し合いについて全員で振り返ります。

授業研究会のシナリオ

〔事前〕

授業者は、授業で特に見てもらいたいことを記入した授業研究会シートを、チームの先生に配ります。チームの先生は、このシートに書かれていることを中心に授業を参観します。そして、参観しながら質問したいことをメモしておきます。

授業参観シート（例）

授業者 ○○先生

○月○日（ ）第○校時 ○年○組教室（研究会 ： ～ ： 場所

○児童についての課題

国語の読み取りなどで挙手する児童が少ない。女子は、ほとんど手を挙げない。

○現在までの指導の分析

手を挙げやすいような雰囲気を作っているつもりではあるが、子どもたちも思っていないかもしれない。

○授業における解決したい課題や願い

手を挙げてしっかり自分の意見を言えるようなクラスにしたい。授業中、楽しい雰囲気はあってもいいと思っているが、けじめのある授業にしたい。

○座席表

○指導案

教科：国語 「ごんぎつね」 3 / 17

①ねらい：兵十に対するごんの気持ちを読み取る。

②展開

- I 場面の様子を読み取る。
- II 兵十に対するごんの気持ちが表れている描写を見つける。
- III 兵十に対するごんの気持ちを読み取る。

本時にかかわらず、ふだんの授業で感じていること、悩んでいること、思いや願いなどを率直に書く。

課題にあげたことで、特に気になる児童について事実や分析を書く。

本時の展開について簡単に記す。

〔授業研究会の例〕

「話し合いモデル」を活用した授業研究会をイメージしやすいように作ってあります。

司会者	参観者（チーム員）	授業者
○授業者の先生は、今日の授業とかかわらせながら、課題と感じていることを簡単に話してください。	授業を見て感じた授業者の課題の背景となる事実や考え方などを理解するために質問する。	ふだんから、質問に答える子が決まっていて発言が少ないです。今日も、ごんと兵十の動作化は、とても盛り上がったのに、「なぜ、兵十のかげなのか」という問いに対して、兵十を好きだからといった気持ちまで踏み込んで発表できる子が少なかったです。
○チーム員の先生は課題にかかわって気になったことを質問してください。	①動作化は盛り上がったのに、心情については踏み込んだ答えがあまり出なかったのは、先生はなぜだと思いますか。 ②算数の授業などでも、手を挙げる子は少ないんですか？ ③Bさんの発言を途中で止めさせたのはなぜですか。	①動作化することがおもしろくて、ごんの気持ちを考えるという思考の切り替えができなかったからだと思います。 ②簡単な計算問題などは、たくさんあげます。文章題になると少ないかな… ③それは、話がまとまらなくて、他の子もBさんは何が言いたいのかわからなそうだったからです。

質問者がかたよったり、課題からずれた話し合いになったときは、話し合いを止める。「今、チームの状態はどうか」…

- ④ そのあと、Bさんは、もう少し話したそうに見えましたが先生はどう思いましたか。
- ⑤ 今年、うまくいったと思う授業は、どんな授業ですか。
- ⑥ そのときと今日との先生の違いは何ですか。

- ④ …よく覚えていません。他の子の発言を聞くのに意識がいつてしまっ…
- ⑤ 道徳で子どもたちが自分の経験をたくさん発表してくれて、他の子も真剣に聞いた授業です。
- ⑥ 道徳は絶対こうだという答えを期待してないので、どんな答えも受け止めようという気持ちが強いです。国語の場合は、つつい意図した答えを求めてしまいがちです。

○ 授業者の課題は何ですか。「A先生の課題は、□□です。」という形で書いてください。発表してください。

○ 授業者の先生は、全員の発言から、改めて自分の課題を発表してください。

○ 授業者のまゝに同意できる方は、手を挙げてください。

○ A先生の課題は、「自分の思いどおりに授業を進めてしまふこと」と共有されました。次に、教師中心の授業になりすぎないようにするためにはどうしたらいいか、話し合います。

- A先生の課題は、子どもにわかりやすく発問することです。
- A先生の課題は、自分の思うように授業を進め過ぎようとするということです。
- A先生の課題は、発問と子どもが答えるタイミングの間の取り方です。

・全員の考えをまとめるのではなく、改めて自分の考える課題について話す。

- ・表面的な問題を生み出している根っこを探る。
- ・シンプルに書く。
- ・1つだけ書く。
- ・発表するときは補足しないで読み上げるだけ。

私の課題は、授業を強引に自分の考えたとおりに進めすぎようとするということです。

挙手で答えさせる。全員挙手の場合は改善策に進む。共有できない場合はその部分を明らかにする質問をやり直す。

課題を明確化し、次は、何を解決することが目標の話合いなのかをはっきりさせる。

○ 一人ずつA先生の具体的な解決策をメモしてください。発表してください。

- 私は、できるだけ授業の中に子ども同士の話し合いの時間を持つようにしています。授業の中に、どの子も自分の考えを発表できる時間を確保すると、子どもたちの意見が出やすくなると思います。
- 子どもたちをほめたり励ましたりすることを授業の中で意図的に行うといいと思います。子どもってほめられるのが大好きですから。ほめるところを探すことで子どもの様子もよく見えます。
- 前に受け持った子でBさんによく似た子がいたのですが、そのときは、クラス全員でその子のよさを認めるようにしていま

自分の経験や知識から生まれた具体的な実現可能な解決策を提案するようにする。

○ A 先生は、これからの授業の行動計画を作り発表してください。 ○ A 先生の行動計画に同意できる方は手を挙げてください。	した。B さんを認めることで、他の子もまちがえても大丈夫だということがわかり、意見もたくさんでるのではないでしょうか。 挙手で答えさせる。全員挙手の場合は振り返りに進む。共有できない場合はその部分を明らかにする質問をやり直す。	明日から、話し合いの場を国語の読み取りの時間に意図的に設ける。手順としては、まず、話し合いの仕方をきちんと指導し、それぞれの児童が必ず班の中で自分の意見を言えるようにする。そのとき、私は、各班を回り、いろいろな意見を把握し、まとめて生かしたいと思います。 ・行動は具体的か。 ・実現性は大丈夫か。 ・十分な効果（授業者の成長、授業の課題解決等）は期待できるか。 をもとに共有できるかどうか考える。
○ 今日の話合いの振り返りを行います。感じたことや学んだことをメモしてください。 ○ A 先生、今日の会は価値がありましたか。 ○ 参観した先生は、話を聞いて感じたことや学んだことはありましたか。また、今日の会を次の授業でどのように活用しますか。	・ 司会者の先生が、話が停滞したときなど話し合いの雰囲気を聞いてくれたりしたので、話し合いがぶれずによかったです。授業を進める上でもこの司会の方法は生かせると思いました。 ・ 私のクラスでも一人一人の発言が少ないので、まずグループでの話し合いを取り入れてやってみたいと思いました。 ・ 質問の形だったので発言がしやすかったですが、今回は、どんな質問をしたらよいかよくわからなかったです。でも、次の参観から、どのように授業を見たらよいか、少しわかったような気がしました。よい質問をするために子どもをよく見たいと思います。	・ 子どもの発言しない理由を、自分自身の姿から問い直すことができたことはとてもよかったと思います。また、一人では気付かなかった課題にも質問をしていただく中で気付けたことはよかったです。先生方のいろいろなやり方も聞くことができたためになりました。 感想ではなく、次の自分たちの授業や授業検討会の質が高まるような振り返りを行う。

* このシナリオは、「話し合いモデル」を使った授業研究会をイメージしていただくためにつくったものです。授業研究会を始める準備段階で、チーム員が、話し合いの過程や留意点を確認し共有するために活用できます。

授業参観シート

授業者
場所：

月 日 () 第 校時
○児童や授業についての課題

--

○現在までの指導の分析

--

○授業における解決したい課題や願い

--

○座席表

教卓

○授業案

①ねらい

②課題に対する手立て

③展開

--

授業研究会シート

名前 _____

月 日 提案者 (_____ 先生)

メモ

本質的な課題 (〇〇先生の課題は□□です)

解決したい課題

解決策 (具体的に)

共有した行動計画

振り返り (今日の会議から感じたこと、学んだこと、自分に生かせること)